



Agilent Bio-Monolith Protein A、Protein G
アフィニティカラム

mAb の定量と幅広い選択性



Agilent Technologies

mAb 抗体価の迅速かつ正確な測定

詳細な解析のために少量の生産物候補を精製し、モノクローナル抗体 (mAb) の抗体価を測定することは、経済的な生産プロセスを開発するために不可欠です。

Agilent Bio-Monolith Protein A、Protein G カラムは、メソッド開発、メソッドの最適化、製品製造のどの条件下でも、常にきわめて高い性能を発揮します。これらのカラムはプロセス開発中の抗体価の測定、細胞クローンの選択、発酵条件の最適化、生産時の最適な採取時間の決定に最適です。これにより、正しい細胞株の選択と採取時間の識別を確実なものにして、プロセスの生産量と経済性を向上させることができます。

- 高速の分離によりメソッド開発時間の短縮とコストの削減が可能になり、生成物が得られる範囲が広がります。
- 高い結合能力により関連する濃度範囲にわたって抗体価を決定し、さらなる特性解析のための精製を可能にします。
- 新しい Bio-Monolith Protein G カラムを使用すれば、IgG サブクラスについて幅広い選択性を提供します。
- 長いカラム寿命、クルードなサンプルを使用する場合でも目詰まりが最小限に抑えられるため、カラムのクリーニングや交換の頻度が少なくて済みます。

広い濃度範囲

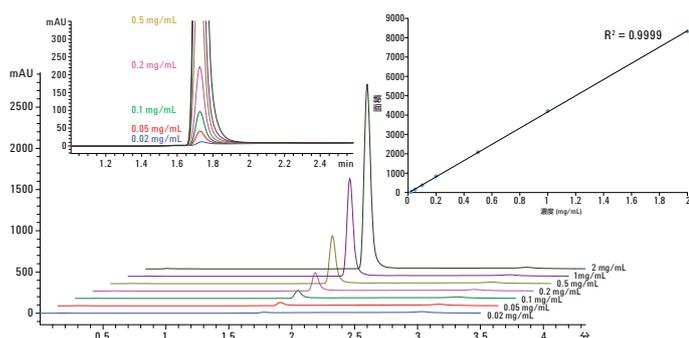


図 1. Agilent Bio-Monolith Protein A カラムを使用した、CHO 細胞に見られる代表的な mAb 抗体価範囲での IgG1 定量の直線性

最適化された形状

Agilent Bio-Monolith Protein A、Protein G カラムは、再現性の高いアフィニティクロマトグラフィーに必要な高い容量と性能を提供します。



AGILENT BIO-MONOLITH PROTEIN A、PROTEIN G アフィニティカラム

実証された特異性

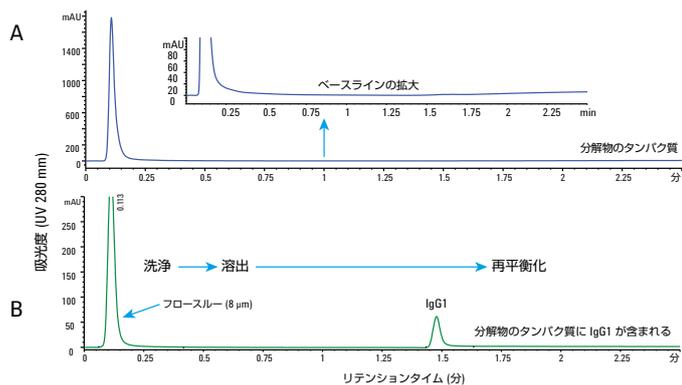


図 2. Agilent Bio-Monolith Protein A カラムを使用して細胞培地の上清から IgG1 をすばやく特定して取り込みました。(A) Escherichia coli 細胞分解物上清 (2 µg の IgG1 と 38 µg の細胞分解物タンパク質の合計約 40 µg) をカラムにロードしました。

長いカラム寿命

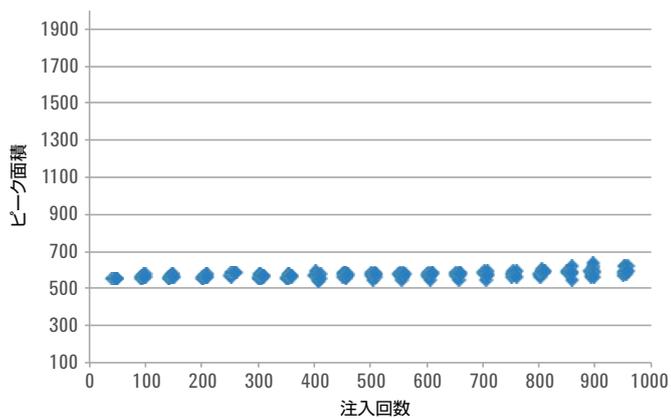
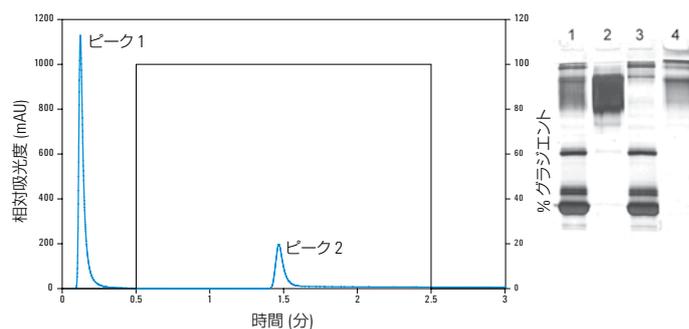


図 3. Agilent Bio-Monolith Protein G カラムの寿命が、1000 サイクル以上にわたる IgG3 の結合と溶出で示されています。ピーク面積の再現性は IgG3 抗体価の正確な定量化を可能にします。

大容量による信頼性の高い真度



説明:

- レーン 1: 分離前の全血清
- レーン 2: IgG 標準
- レーン 3: ピーク 1 (フロースルー分画)
- レーン 4: ピーク 2 (タンパク質 A 結合分画、IgG1 および IgG2 など)

図 4. Bio-Monolith Protein A カラムを使用してヒト血漿中のヒトポリクローナル IgG を迅速に定量化しました。IgG は結合され 100 % バッファ B のステップグラジエントを適用したところ、IgG は 1.5 分に溶出しました。

製品情報

Agilent Bio-Monolith Protein A、Protein G カラム

品名	部品番号
Bio-Monolith Protein A, 4.95 x 5.2 mm	5069-3639
Bio-Monolith Protein G, 4.95 x 5.2 mm	5190-6900

詳細情報

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料掲載の製品は、すべて研究用です。その他の目的にはご利用になれません。
本資料に記載の情報は、予告なしに変更されることがあります。
本文書掲載の機器類は薬事法に基づく登録を行っていません。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2015, 2018

Published in Japan, April 1, 2018 (based on May 23, 2015 version)

5991-5961JAJP

分離の課題を解決する 高性能な Agilent ソリューション

限りなく優れた技術 –

Agilent 1200 Infinity シリーズ LC

ルーチン分析用の LC システムから、高度な高分離能 LC/MS システムまで、Agilent 1200 Infinity シリーズは究極の分離能と感度を提供します。単位時間あたりの分離能力は大幅に向上し、システム間の容易なメソッド変換を確実に実現します。メソッドの再開発や再バリデーションは不要です。

高速で一貫性の高い生体分子の特性評価 –

Agilent AdvanceBio カラム

Agilent AdvanceBio カラムは、ペプチドやタンパク質の分離および特性評価において一貫した高品質の性能を提供します。これらの最先端のカラムでは、精度と生産性を高め、分析を妨げる可能性のある干渉を排除します。カラムは厳密にテストされ、また、60 日間の保証も付いています。

詳しくは agilent.com/chem/jp をご覧ください。



Agilent Technologies